

## 平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部

教育委員会事務局

課

児童保育課

施設名称	〔37〕 東京都台東区立千束児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(25年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円, 支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-20-6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日:午前9:30~午後6:00、日曜日(第三日曜日を除く):午前9:30~午後6:00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 図書室・遊戯室・図工室・音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000	32,376,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000	32,376,000
決算	委託料	31,849,502	34,318,317	30,310,519	31,344,530	32,186,344
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	10,000	0	0	503,417
	管理経費	31,849,502	34,328,317	30,310,519	31,344,530	32,689,761
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
開館日数	日	334	308	334	333	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	36,000	19,287	28,954	35,228	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

年齢に適した遊具の充実、子ども会議での意見の聞き取りや高校生自主企画の支援を行った。  
また、児童館まつりの実施、小学生と中高生の交流など、異年齢交流を広げた。  
初めての利用者や年齢に合った過ごし方の希望に丁寧に対応し、次の利用や活動の実現に繋げた。  
民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [3]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [3]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	乳幼児親子が気軽に集まれる環境整備を行い、子育て中の親子の交流を促進している。学校や子ども家庭支援センターなどの関係機関と連携し、要保護児童について家庭も含めた支援を行うなど、児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。
(2)施設の維持管理	A	定期的な点検、速やかな補修を行い、安全、安心を心がけた施設管理に努めている。
(3)利用者の満足度	S	ままごと・絵本などの遊具の充実や遊びの種類で部屋を区別する工夫、各室での職員の見守りにより、利用者アンケートでの遊びの満足度は高い。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

**妥当**

屋上も含めた各部屋に利用者を見守るための職員を配置することで、利用者の遊びたい気持ちに応えることができ、利用者数が増加している。合わせて要保護児童の家庭も含めた支援も行い、児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

- ・利用者のニーズを把握し、要望に合わせたきめ細かな事業展開を行う。
- ・利用者が居心地良く利用できるよう、年齢に配慮した環境整備に努める。
- ・関係機関との連携の強化により、情報を共有し、子どもだけでなく家庭の支援も行いながら課題の解決に努める。